

神戸市におけるウォーカブルな空間づくり 都心三宮の再整備について

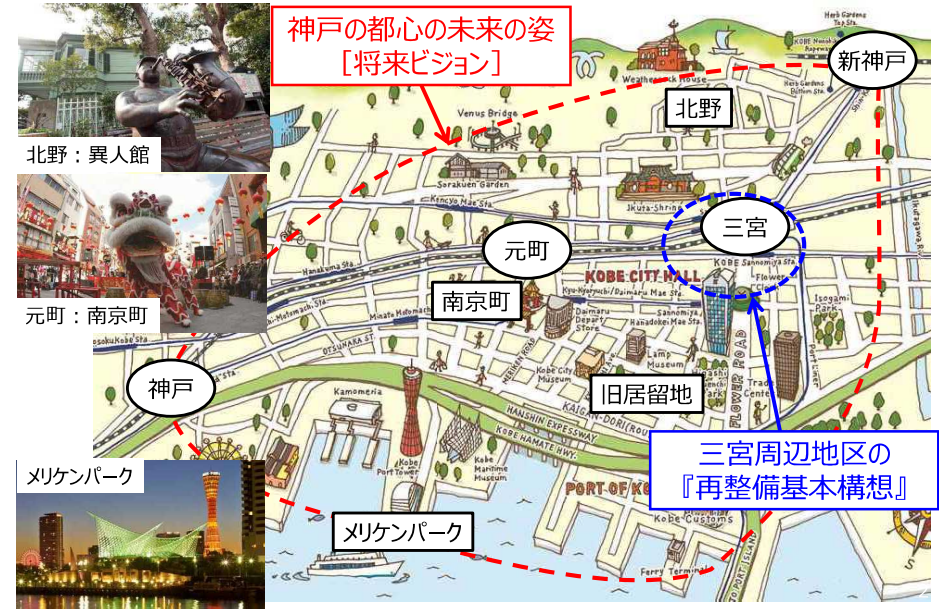
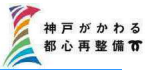


神戸がかわる
都心再整備

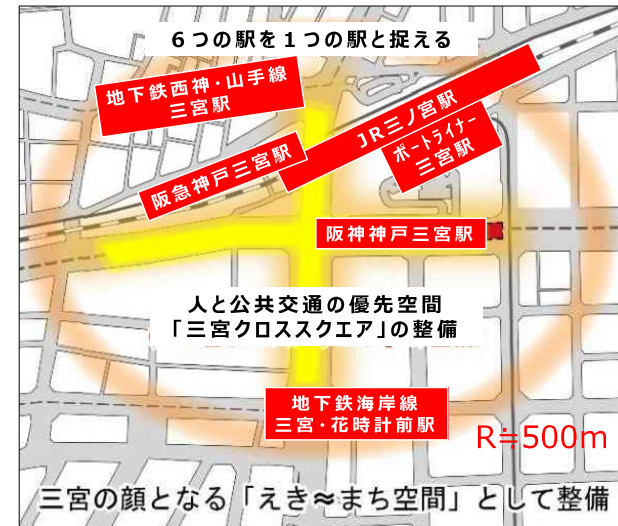
BE KOBE

神戸は、人の中にある。

神戸の都心のエリア



三宮駅周辺の将来像：「えき～まち空間」

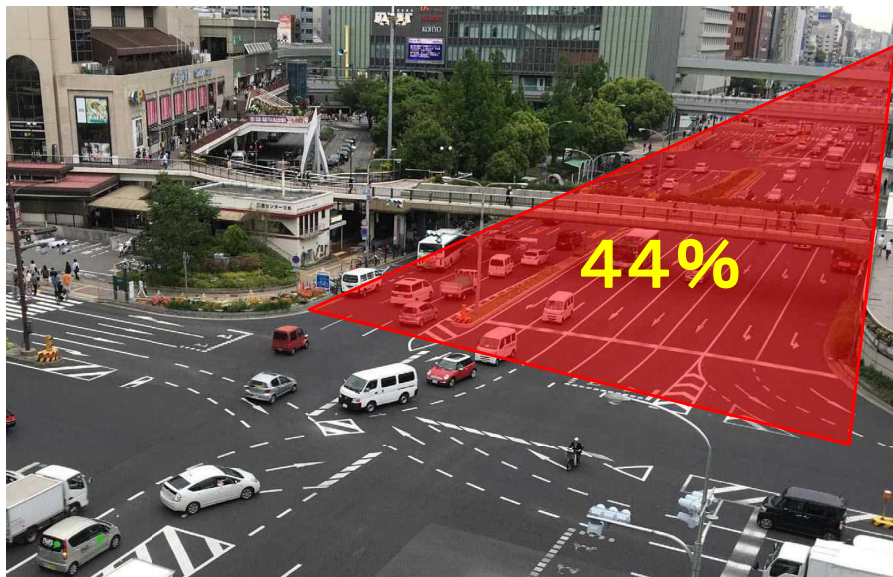


三宮駅の乗降客数

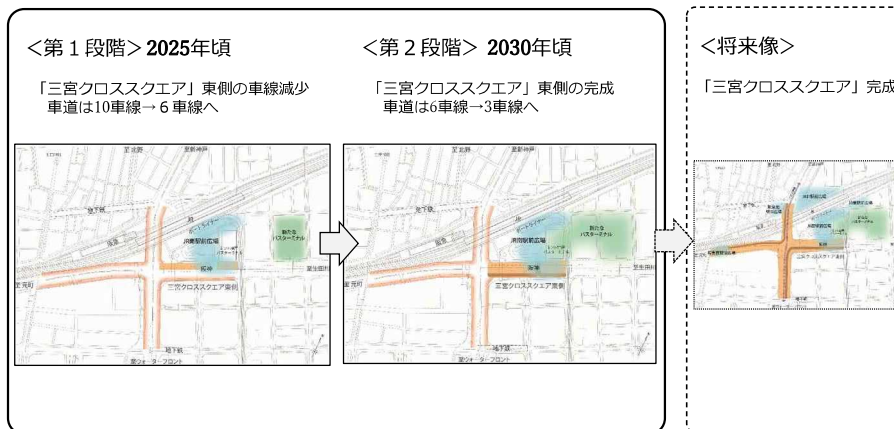
| 路線名 | 乗降客数 (人/日) |
|------------|------------|
| J R | 250,000 |
| 阪急電鉄 | 130,000 |
| 阪神電車 | 110,000 |
| 地下鉄 西神・山手線 | 120,000 |
| 地下鉄 海岸線 | 20,000 |
| ポートライナー | 70,000 |
| 合計 | 700,000 |

三宮の顔となる「えき～まち空間」として整備

都心を目的地としない通過交通の割合



「三宮クロススクエア」の段階整備のイメージ



現況

三宮クロススクエア東側

※VRによるイメージ



第1段階 2025年頃 三宮クロススクエア東側 (10車線→6車線)

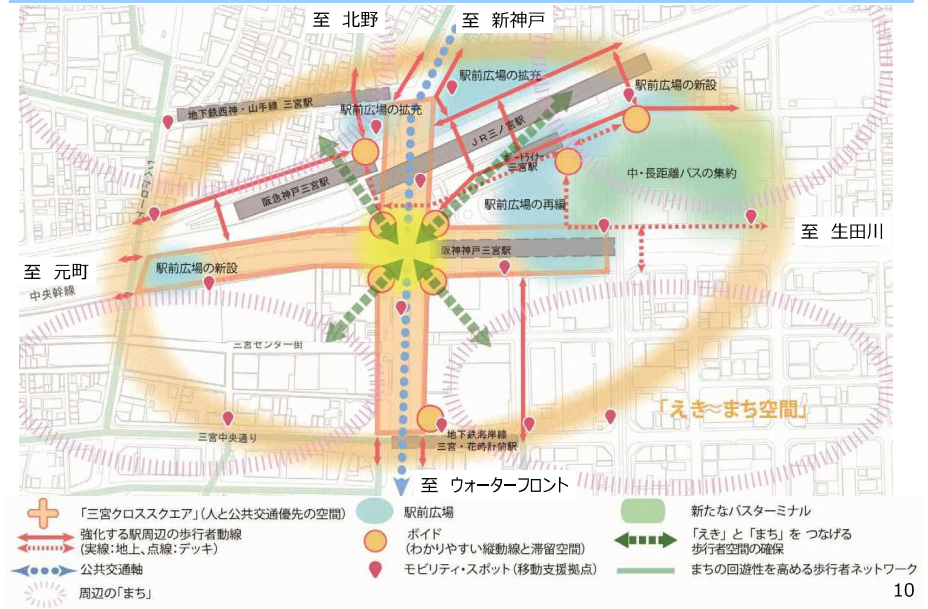
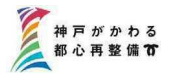
※VRによるイメージ



第2段階 2030年頃 三宮クロススクエア東側 (6車線→3車線)



交通の考え方



景観の考え方

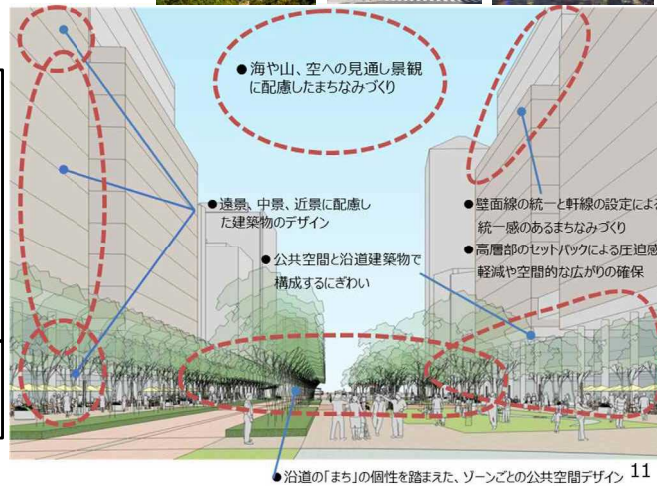


- 1) 都市と自然が調和する景観
- 2) 神戸らしさを感じる“まちなみ形成”
- 3) 温かみのある夜間景観

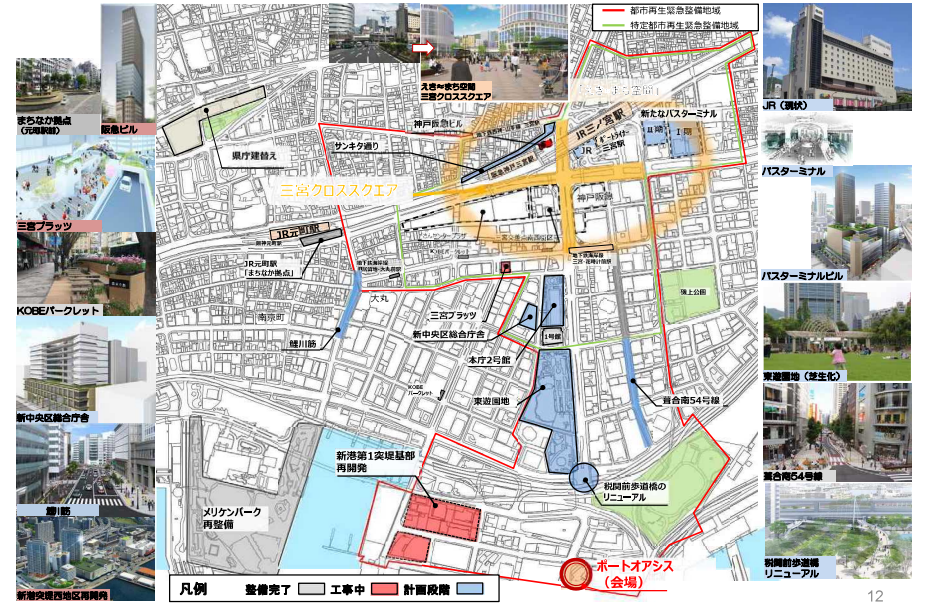


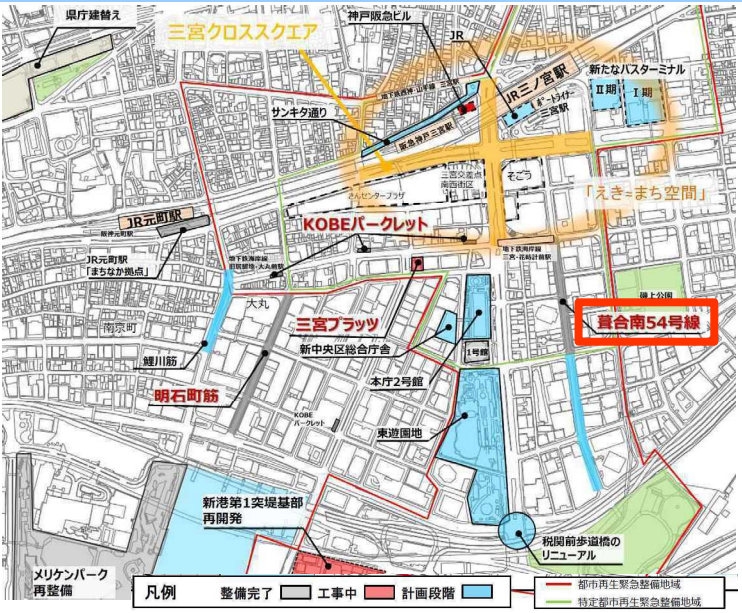
景観デザインコード

- ・景観形成方針
基準やガイドライン等の前提となるコンセプト
 - ・景観形成基準
法令に基づく行為の制限事項等 (主に行政による運用を想定)
 - ・ガイドライン
基準化になじまない誘導事項等 (地元協議会と行政の連携による運用を想定)
- | | |
|------|-------|
| 建築物 | 公共空間 |
| 夜間景観 | 屋外広告物 |



都心三宮における公共空間のにぎわい創出の取り組み





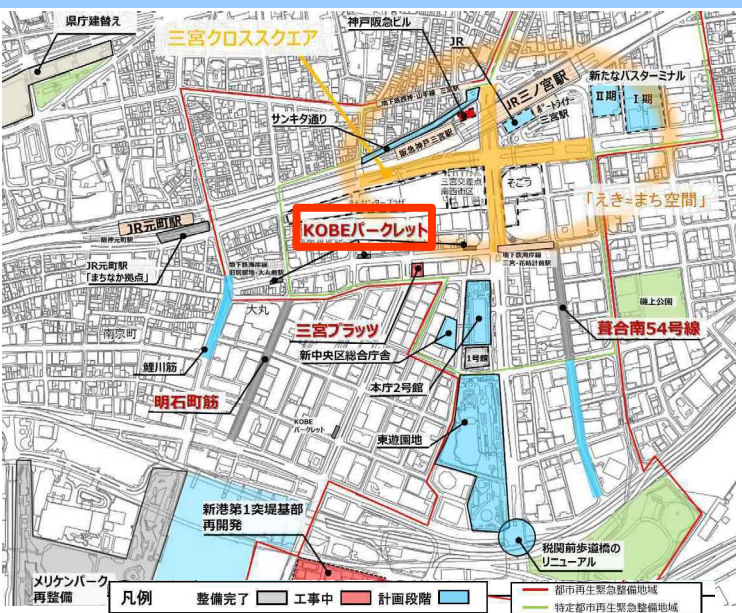
葦合南54号線



(整備前)



(現在)



KOBEパークレット



(整備前)

KOBEパークレット

(現在)



2018年10月
グッドデザイン賞受賞



サンキタ通りの再整備



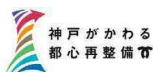
歩行者優先の空間へ再整備



ウォーカブルな空間の実現に向けて



社会実験の実施



三宮クロススクエア（第1段階）を目指した交通社会実験の実施

・期間：令和元年7月2日（火）～31日（水）

車線規制の実施

三宮クロススクエア（第1段階）の車線数を再現するため、
現況10車線（最大）を6車線に減少
 （東行きを3車線から2車線、西行きを7車線から4車線）



三宮交差点～中央区役所前交差点間 約400m

空間の利活用のための仕組みづくり



空間イメージ
 ≪三宮交差点から東側をのぞむ≫

三宮クロススクエア東側



勉強会の様子

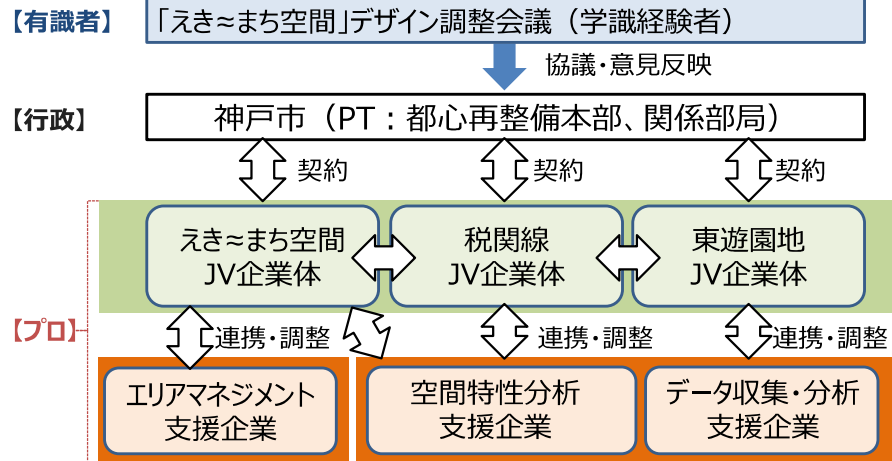
エリアマネジメントの実施に向けた勉強会

- ①ビジョンづくり
- ②組織づくり
- ③にぎわい創出の取組みの試行



神戸の玄関口として
 ふさわしい空間の創出

空間デザイン検討体制について



BE KOBE